



vol. 59

2020年12月発行
編集・発行
君津中央病院
☎0438(36)1071

<http://www.hospital.kisarazu.chiba.jp>



理念

私たちは良質で安全な医療を提供し
地域の皆さまに親しまれ、
信頼される病院をめざします。



認定第JC295-4号
一般病院2(3rdG:ver.2.0)
2019.8.23~2024.8.22

日本医療機能評価機構とは、市民が
適切で質の高い医療を安心して享受
できるよう、医療機関の機能を学術
的観点から評価する第三者機関です

基本方針

- 1 接遇とサービスに心がけ、心が安らぐ癒しの環境を整えます。
- 2 高度で良質なわかりやすい医療を提供します。
- 3 包括医療を実践し、地域との連携を大切にします。
- 4 救命救急医療体制の確立と小児、周産期及び終末期医療の充実をめざします。
- 5 職員の教育・研修を推進し、自己研鑽に努めます。
- 6 病院で働く人が一体となり、経営の健全化と満足感のある職場をめざします。

目次

医務局 泌尿器科の紹介 …………… 1	君津中央病院附属看護学校 …………… 5
看護局 NICUの紹介 …………… 2	大佐和分院よりお知らせ …………… 6
医療技術局 臨床栄養科の紹介 …………… 3	調理師募集
褥瘡対策委員会の取組み …………… 4	インフォメーション …………… 7

医務局 泌尿器科の紹介

2020年4月より、千葉大学病院泌尿器科より赴任しました仲村 和芳です。私以外に千葉大学病院と千葉大学関連施設から山本賢志・樋口 耕介・佐藤 航大・井内 駿太郎が赴任いたしました。河合 正記先生や非常勤ながら長い間尽力頂いている片海先生にも引き続き支えて頂いており、大変心強く感じております。

当科は、2007年から常勤がいない状態が続いており、地域の泌尿器科診療は大変厳しい状態が続いておりました。しかし、2016年に河合先生始め横浜市立大学からの先生方が常勤として来ていただいたおかげで、泌尿器科の診療は急激に良い方向へと向かいました。そのおかげで、私達が4月に赴任してからも泌尿器科診療が通常通り行える体制が整っておりました。良いところは継承しさらなる体制整備を進め、5月の新型コロナウイルスの緊急事態宣言解除をスタートとして、新体制での通常手術・通常診療を再開しました。

●本邦では泌尿器科手術において、ロボット腹腔鏡“ダヴィンチ”が急速に普及し適応が拡大しております。ダヴィンチ手術は、「腹腔鏡の低侵襲度」と「人間の手の自由度」と「3次元拡大視野」を併せ持つ高性能な手術機器です。ダヴィンチ機器にもいくつか種類がありますが、当院が有しているのは最新型のダヴィンチ Xiです。

この地域以南以東で有している施設はありません。そのため、この地域の泌尿器科ダヴィンチ手術への期待は大きいと考えます。



千葉大学病院時代に市川智彦教授の号令の下、当時自費診療であった腎癌と膀胱癌のダヴィンチ手術を千葉県へ導入する仕事を行わせて頂きました。そこで培った経験を活かし、君津中央病院においても体制整備を進めました。現在は保険適応となっている「前立腺全摘除術」「腎部分切除術」「膀胱全摘除術+体腔内回腸導管造設術」を安全に導入し軌道に乗っております。県内でこの3つのダヴィンチ手術を通常通り行える施設は千葉大と当院のみです。これらの優れた手術を地域の患者さんに広く届ける意味でも、最大限安全面に配慮しながら後進の指導の体制づくりも併せて尽力し手術の標準化を目指しています。

●一緒にスタートを切った仲間に恵まれたことで、安全な手術や日常診療が行えることに日々感謝しています。学年の垣根を越えて、「正しいことを正しい、間違ったことを間違っている」と言える風通しの良い泌尿器科を目指しております。また、他診療科の先生方やメディカルの方々に支えられて自分たちが成長させてもらっていることを忘れずに、日々精進してまいります。



この地域の特色として未だ進行癌で見つかる患者さんが多く、今後の大きな課題と考えています。少しずつこの課題の解決に向けて動き出そうと考えています。

「質の良い安全な医療」と「仲間を大切にしたい良い働き方」のバランスの取れた診療を目標に、これからも頑張っけてまいりますので、今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

(泌尿器科：仲村 和芳)



看護局 NICUの紹介

◆NICU紹介◆

NICUとは「新生児集中治療管理室」のことを言います。予定日より早く生まれた小さな赤ちゃんや生まれてすぐに手術の必要な赤ちゃん、何かしらの治療が必要な赤ちゃんが入院している所です。NICUには呼吸や循環、体温を管理するための特別な機械や設備が整っており、専門的医療を24時間体制で提供しています。

馴染みのない環境かもしれませんが、最近ではドラマ「コウノドリ」で話題になり、認知度が増えているのではないのでしょうか。NICUは千葉県下では11施設あり、当院は「地域周産期母子医療センター」に認定されています。当院の産科病棟からは勿論、千葉県内各所の産科のほか、東京や神奈川などから年間約200名の赤ちゃんを受け入れています。

生まれて間もない赤ちゃんたちは、治療を受けるためにご両親のもとから離れて過ごす事となります。コロナ禍の中、院内の面会は制限されていますが、赤ちゃんがご両親の声を聞いて安心して過ごせるよう、また、身心の成長・発達のためにも短い時間ではありますがご両親のご協力を得て面会をしていただいています。赤ちゃんをご両親を一番に考え、医師や看護師、理学療法士、訪問看護、ソーシャルワーカー、地域の保健師等と協力し、ご両親の不安な気持ちに寄り添いながら、赤ちゃんが早期に退院できるよう支援しています。



ドクターカーについて



街中でNICUと書かれた救急車を見かけることはありませんか？ 当院が所有している赤ちゃん専用の救急車です。表示されている文字が逆じゃないか？と思われた方もいるかもしれませんが、前の車の運転手にNICUの救急車が後ろにいることを知らせるため、鏡文字になっています。NICUの救急車に遭遇した時には、生命と向き合い、頑張っている赤ちゃんが一刻も早く治療が受けられるよう救急車優先にご協力をお願いいたします。

～NICUスタッフの思い～

NICUを退院した赤ちゃんが成長を重ね、幼稚園入園、小学校入学などさまざまな出来事をむかえると、ご家族から病棟にお便りをいただくことがあります。ご家族の労をねぎらうとともに、赤ちゃんの成長を感じ取れる嬉しい瞬間です。新生児科の基本方針は「周産期医療の充実を目指し、入院した赤ちゃんたちが健やかに成長できる」です。これからも赤ちゃんをご両親に寄り添って、より良い看護ができるよう努めていきたいと思えます。



(新生児科病棟：高上 敦子)

医療技術局 臨床栄養科の紹介 ～厨房編～

臨床栄養科では入院患者さまの栄養状態を一人ひとり把握し効率的な治療が達成できるよう、医師、看護師、医療技術スタッフと連携して適切な食事の提供をしております。「季節感と手作り感を大切に、喜んでいただける病院給食」を目標に努力しています。スタッフは管理栄養士10名、栄養士1名、調理師17名、調理員25名、助手1名の計54名で日々栄養管理業務や給食管理業務を行っています。

今回は厨房でどのように食事が作られ、患者さまのもとへ届くのかをご紹介します。

① 下処理



納品した食材を検品・仕分けを行い、料理ごとに切り分けます。

② 調理・盛付け



調理室では食事の種類ごとに調理し、盛付けします。

③ ベルトコンベアでの食事セット



食札※を確認しながら、ベルトコンベアで担当者がそれぞれ主食、主菜、副菜とセットしていきます。最後に食札とお膳に載っている料理に間違いがないかを確認し、配膳車で病棟に届けます。

④ アレルギー対応食の確認



食物アレルギーをお持ちの患者さまの食事は、一つひとつの料理にアレルギー食材の混入がないよう複数人でチェックを行い、個別に配膳車に入れます。

⑤ 配膳



患者さまのもとへ適切な温度で衛生的な食事が配膳されます。

※食札...食札とは患者さまごとに食事の種類や料理名が記載されている食事札のことを言います。



クリスマス(ローストチキン)



正月(おせち料理)

行事食、お楽しみ献立を年間25回実施しております。



褥瘡対策委員会の取組み

褥瘡対策委員会メンバー

形成外科医師、皮膚科医師
整形外科医師、看護師長2名
薬剤師、管理栄養士、理学療法士
医事課、皮膚・排泄ケア認定看護師2名
スキンケアチームメンバー
(各病棟看護師1～5名)



CHECK!

褥瘡とは

“じょくそう”と読み、「床ずれ」のことをいいます。

一般的に「床ずれ」というと、寝たきりで寝返りができずにおしりに傷ができると考えられています。近年、その発生機序や発生要因など研究が進み、単なる寝たきりで発生するのではなく、栄養状態や寝床環境、皮膚の状態や疾患も関係していることがわかってきています。

当院では褥瘡対策委員会があり、多方面からアプローチできるよう専門職が連携し、褥瘡予防や治療に継続した取り組みを行っています。

(褥瘡対策委員会：今野 日登美)



活動内容

週に1回、委員会メンバーとスキンケアチームメンバーで、褥瘡がある患者さまの回診を行っています。褥瘡部の状態を確認し処置方法を検討したり、栄養状態を良くするために補助食品の紹介も行っています。また、理学療法士から負担をかけない楽な姿勢や体の向きを変える方法について担当看護師に指導しています。

褥瘡は発生させないよう予防が重要です。褥瘡対策委員会では、治療や処置方法のみでなく予防対策について看護師を対象とした教育を継続的に実施しています。

地域の医療従事者を対象とした勉強会「かずさ創傷スキンケアセミナー」を年2～3回開催しています。地域連携室が窓口となり、医師と皮膚・排泄ケア認定看護師が講義を担当し、褥瘡予防や治療などについて講演を行っています。医師会を通じて案内しておりますので、医療従事者の多くの参加をお待ちしております。

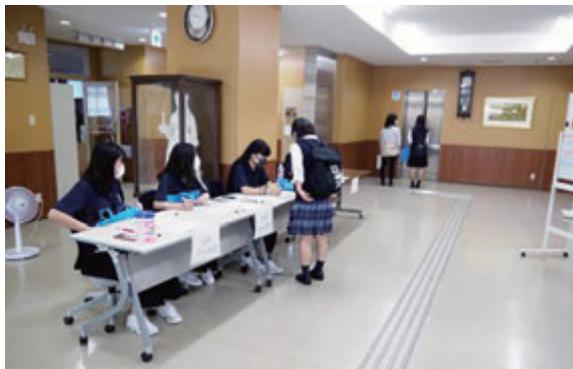
●床ずれ予防のポイント●

- ① 体にかかる圧をやわらげる体圧分散マット(ウレタンマットやエアマットなど)を利用しましょう
- ② バランスよく栄養を摂りましょう。肉、魚、大豆製品などの蛋白質、果物などのビタミンを多く含む食品を食べるよう心がけましょう。
- ③ おむつはこまめな交換を心がけ、洗浄や清拭で肌の清潔を保ちましょう。



君津中央病院附属看護学校

令和2年度オープンキャンパスを開催しました



開催当日は、各所にアルコール消毒液を設置したり、少人数のグループに分けて校内見学を行ったりなど、様々な感染症対策を実施しました。また、熱中症対策のために飲料を配布するなどし、ご来場者の皆さまにはご好評をいただきました。

ご来場者の案内や学生交流会のため、当校の在校生30名がボランティアとして参加しました。来場者アンケートでは、在校生の明るさや丁寧な話に特に良い印象を受けたというコメントを多くいただきました。

令和2年度君津中央病院附属看護学校オープンキャンパスを、8月3日(月)、8月4日(火)の二日間開催しました。新型コロナウイルス感染症対策として、例年より大幅に参加人数を制限しての開催となりましたが、当校の受験を検討される皆さまから多数のご応募があり、同伴の保護者の方も含め、2日間のご来場者数は114名となりました。



令和2年度入学生が、初の病院実習を行いました

実習前説明会の様子



令和2年度入学生60名が、初めての病院実習を行いました。こちらについても、新型コロナウイルス感染症対策のため、例年とは内容の違うものとなりましたが、初めてユニフォームに身を包んだ一年生の活気ある様子が見られました。

(看護学校事務係：伊藤 綾彩)

大佐和分院よりお知らせ

人間ドック受付中
TEL 0439-65-1251

大佐和分院ギャラリー

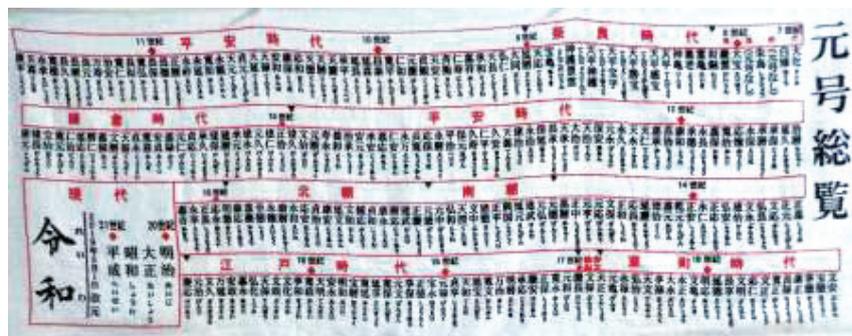
■大佐和分院には、主に絵画を飾ってあるギャラリー。そして近年、放射線係前の掲示スペースに、患者さまよりいただいた写真や私の趣味の海の中の生き物の写真を飾らせてもらっています。場所は外来待合よりも奥の、採血やレントゲン撮影等を行う患者さまのお待ちいただく椅子の正面になります。

■本年初頭に患者さまより大変興味深い手ぬぐいをいただきました。あわせて掲示させていただいております。こちらは、元号総覧が印刷されており、7世紀から現在の令和に至るまでの元号が記載されており、とても興味深いものとなっております。分院に通っている患者さまは一度はご覧になったことがあるのではないのでしょうか。



■採血、レントゲン等終わり、診察を待っている間に興味深く眺めている方が絶え間なくいらして、とてもよいものをいただいたなあと思っております。またついつい、ご覧になっている方々と、世間話に花が咲いてしまいます。

■お恥ずかしい話ではありませんが、私は歴史が好きではなかったため明治より前の元号を初めて知ることができました。分院に、来院の折には是非こちらの元号総覧をお楽しみ頂けたら幸いです。



■病院とは暗いイメージがついてしまいがちですが、少しでもお待ちいただく間にこちらのギャラリー？でも楽しんでいただけたらと思います。

■コロナ禍の影響で、まったくとっていいほど外出機会がありませんでしたので写真の更新は、まったくできませんが、外出のできる時が来た折にはまた新しい写真など掲示してきますので乞うご期待。



(放射線係：大谷 宜久)

お知らせ -Information-

君津中央病院 調理師大募集!!



応募資格	調理師免許
仕事内容	入院患者給食の調理
勤務時間	5時30分～20時30分 の間に8時間30分 (休憩時間含む)
休日	週休2日(4週8休のシフト制)、 年次有給休暇、 特別休暇(夏季、忌引等)、 早番遅番手当等
給与	規定による(経験考慮) ※学歴及び職歴により加算あり ボーナスあり(6月・12月)

●問い合わせ先●

〒292-8535 千葉県木更津市桜井1010番地

TEL:0438-36-1071(代表) 担当: 國見(処遇等)・船橋(業務内容)

がんサロンのお知らせ

がんサロンは、同じような悩みを持つがん患者さまやご家族が集まって、それぞれの体験や思いを語ることができる場所、病気や療養について情報交換ができる場所です。新しい出会いや抱えている悩みや問題を解決する糸口が見つかるかもしれません。ぜひ一度お越しください。

日時	令和2年12月18日(金)、令和3年1月15日(金)、2月19日(金) 毎月第3週金曜日 14時30分から16時まで ※ソーシャルディスタンスを保つため、当面の間、先着10名様に 限らせていただきます。ご理解ご協力のほど宜しくお願いいたします。 ※当日はマスク着用の上ご参加ください。
場所	2階 患者図書室 ※予約はいりません。費用無料です。
お問い合わせ先	☎0438-36-1071(代) 担当: ソーシャルワーカー 保坂 まで



人事行政の運営等の状況の公表

令和元年度人事行政の運営等の状況を病院ウェブサイトに掲載しました。
詳細はホームページから

[ホーム](#) ▶ [君津中央病院事業団](#) ▶ [人事行政の運営等の公表](#) をご覧ください。

